



大分トリニータのホームゲームを盛り上げるため、在京大分県人会(前)

東京からもエール

ホーム戦 県人会がキッズシート

田見伸会長は7月9日のJ2リーグ第20節FC東京戦から、大分銀行ドームに「キッズシート」を設け、県民を招待する。「サッカーを通して郷土を愛する心を育みたい」と同県人会。観戦を希望する親子や家族連れを募っている。

同シートは計22席で、場所はホーム側のメインスタンドS席(最前列)。「大分の未来を創る子供たちへの贈り物事業」として、会員から101万円(100名)の浄財を集め、初年度はリーグ最終節(12月3日)までのホーム9試合分のシートを購入した。

22席には寄付者の名を記した特注デザインのカバーを施す。当日はドーム内に横幕(縦1枚、横5.5m)を掲げて県人会をPRし、同シートで観戦する子どもたちには選手の色紙やグッズなどを贈る。在京県人会は「事業は来シーズン以降も続ける予定。古里の子どもたちと一緒に、遠く離れた東京から大分トリニータを応援していきたい」

県内に住んで中学生以下(小学生以下)の子どもと保護者が対象。申し込みは1家族4人まで(半数は中学生以下)。希望者が多数の場合は抽選する。応募方法などの問い合わせは大分フットボールクラブ(☎097・554・2250)へ。